

弊店の調度品について



暖簾（のれん）：京都の染師による手書き制作の麻生地暖簾でございます。



会津塗 昭和初期作

椀、膳：日本三大漆器（会津塗、紀州塗、山中塗）の本塗漆器でございます。中でも、懐石用の膳は会津の旧家より賜りました昭和初期に制作された本会津塗の漆器でございます。

盆：甘味とお茶セット用の朱色盆及び正方形の盆は、宮内庁御用達漆器店山田平安堂の長手膳千筋と正角膳千筋でございます。

急須：岩手県盛岡より取り寄せました岩鑄の南部鉄器でございます。



会津塗の銘々皿、宮内庁御用達山田平安堂の長手膳千筋。岩鑄の南部鉄器



山中塗のお椀、紀州塗の盆



紀州塗のお椀と盆



会津塗の銘々皿

抹茶椀：一点一点作家物でございまして、銘が彫られております。

陶器：デザート椀は宝珠作でございまして銘がございまして。あんみつの器は楢崎洋一作（神栖市）でございまして。梅模様の染付皿は、当家のもので昭和初期の作でございまして。ケーキ用のお皿は弊社オリジナルデザインの絵付け皿でございまして。



宝珠作 デザート椀



弊社オリジナルデザインのケーキ皿

御軸：江戸時代初期から中期にかけて制作された御軸を季節に合わせ、床の間に飾っております。



建具：弊店の玄関戸及び廊下と部屋を仕切る格子建具は大正から昭和初期に制作された建具でございまして。神棚の部屋には青海波模様、床の間の部屋には桜の花模様が入った硝子を使用され、また一番奥の部屋には組子技術によって模様が付けられ大正浪漫を覗わせる、いずれも現在では制作されていない大変貴重な建具でございまして。

家具：丸いちゃぶ台及び洗面所の丸い鏡は、岡山県倉敷の TEORI 社より取り寄せました竹製家具でございまして。長方形のちゃぶ台は当家のものでございまして、昭和後期の作でございまして。

行灯：宮城県蔵王町の建具店より取り寄せました、建具職人の制作による座敷行灯と組子行灯でございまして。